

犯罪被害者支援条例の概要・各地の制定状況についてのご意見

- ・ 地域によって格差が生じることはよくないと感じた。
- ・ 条例のある自治体と、ない自治体の差は何なのか考えさせられた。
- ・ 香川でも高松でも、実効性のあるものが必要と感じた。
- ・ 各県、市町村において条例による差異があることを理解できた。
- ・ 被害者に対してもっとお金も支援も、予算をつぎ込んでほしい。
- ・ 香川県は遅れていると感じた。なぜ条例がないのか。
- ・ 情報を集めて条例制定の必要性を訴えていくことが大事だと思った。
- ・ 17道府県で犯罪被害者支援に特化した条例があるのに香川県にまだないということが全てである。
- ・ 明石市で制定されているのに、香川県でできないのはなぜか。予算だけの問題なのか。
- ・ 市町村によって温度差はあると思うので、県が引っ張っていってくれるようになればよいと感じた。
- ・ 香川にも早く条例ができるといいと思った。
- ・ 全国できちんと保障されているものと思っていました。
- ・ 犯罪被害者について考えるよい機会となった、今後もこうした場を設けて欲しい。
- ・ 犯罪被害者のことをなんとなくしか理解できていなかったと反省している。条例制定に向けて力を尽くしたい。
- ・ もっとたくさんの人に参加してもらいたい。条例を作るか作らないか決めるのにはまず知識を持つことが必要だと思う。

その他ご感想

- ・ 支援条例についての情報がコンパクトに的確にまとめられていて良かった。
- ・ 条例の必要性、疑問点ごとに示され、わかりやすかった。
- ・ 多くの自治体で制定されているのがわかってよかった。
- ・ 犯罪被害者について考えたことは今までなかったが、現状や生の声を聞き、自分なりにもっと調べてみたいと思った。
- ・ 被害者家族の声には説得力があった。
- ・ 被害者家族らの話を聞いて、多岐に渡る支援が必要だと感じた。
- ・ 明石市の事例が大変参考になった。
- ・ 香川の被害者の話も聞きたかった。

87名参加 アンケート回答者数 56

1 シンポジウムの感想 「大変よかった」「よかった」89%

2 犯罪被害者支援条例の制定の必要性について

是非とも必要 52

どちらかといえば必要 2

無回答 2

3 参加者の属性

弁護士、被害者支援センター、地方議員、公務員ほか